

**平成 29 年度第 2 回 北杜市老人福祉計画・介護保険事業計画策定委員会
及び北杜市地域包括支援センター運営協議会 会議録**

開催日時 : 平成 29 年 9 月 29 日 (金) 10 : 00 ~ 11 : 30
出席者 : 委員 11 名
欠席者 : 委員 5 名
傍聴者 : 無し

1. 開会のことば

事務局 : ただいまより、平成 29 年度第 2 回北杜市老人福祉計画・介護保険事業計画策定委員会及び北杜市地域包括支援センター運営協議会を開催いたします。本日は 5 名が欠席となっておりますが、北杜市老人福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会設置要項第 6 条の 2 の規定に基づく出席者数が過半数を超えていますので、本会議は成立いたします。

2. 会長あいさつ

会 長 : 朝晩めっきり寒くなりましたので、皆さんも体調管理に気を付けていただきたいと思います。9 月 24 日の新聞に住民主体による高齢者の移動支援サービスの取組みが掲載されました。今日の議題の中に入っていますが、色々な取組みをしていただいていると感じました。本日は忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。

3. 議事録署名人選出について

事務局 : 会議の開催に関する要項第 8 条 3 により、議事録署名人 2 名を選出したいと思います。議事録署名人は、清水委員と石井委員にお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

一 同 : 異議なし。

事務局 : それでは、2 名の方をお願いいたします。

4. 議事

(1) 策定委員等から出された主な意見と対応

・策定委員等から出された主な意見と対応について、事務局より説明。

<質疑応答>

特になし。

(2) 基本理念・事業計画の方向性（基本目標）の設定

・基本理念・事業計画の方向性（基本目標）の設定について、事務局より説明。

<質疑応答>

特になし。

(3) 将来推計

①地域包括ケア「見える化」システムによる自然体推計（1 回目）

②介護保険給付費支払準備基金について

- ・地域包括ケア「見える化」システムによる自然体推計（1回目）及び介護保険給付費支払準備基金について、事務局より説明。

<質疑応答>

会 長：取り崩しの額は、今ここで決めるのか。

事務局：考え方として、全額取り崩すのか、半額残すのかなど、その方向性について検討してもらいたい。

委 員：過去の取り崩し額の比率はどのくらいなのか。

事務局：前は、計算式にあてはめて、基準額が4,000円になるように計算し、基金を2.1億円取り崩すという計画を立てた。ただ、総合事業への移行もあって、保険給付費をあまり使うこともなかったもので、実際には取り崩さずに済んでいる。

委 員：2.1億円は、取り崩し額の比率としてはどのくらいだったのか。

事務局：策定時で、全体で3.6億円であったので、約58%であった。

会 長：だからといって、次も58%取り崩しという話ではないと思う。取り崩し額が大きくなれば、個人の負担額が少なくなるということになる。市の考えを示してもらわないと、この場で方向性を考えるのは難しい。

事務局：前は、今回のようにいくつかのパターンを示しているわけではなく、最終の保険料月額を決めて、2.1億円取り崩してはどうかという話を進めたと思う。今回、例えば全額を取り崩せば、第6期との差額が269円程度で見たいは良いかもしれないが、団塊の世代が75歳を迎える第9期では6,400円程度という数字が見えているので、次で急激に上げることが果たして良いのかどうかという思いもある。個人的には全額取り崩してではなく、第8期・第9期を見据えた基準額にした方が良いと思う。

事務局：基金を全額使えば、今回の上り幅は少ないが、その次のステップで6,000円台になってしまう。その時には基金が残っていない形になる。今回が良くてもその次がどうか、という話になるので、いくつか具体的に示させていただければと思う。

会 長：今、計画を作っていて、その計画に応じて金額が決まってくると思う。その計画がまだできていないのに、金額だけどうするかと言われても決めようがない。

事務局：現時点の数値は介護報酬の改定などは含めていないが、現時点での積算の4,900円程度から下がる要素はない。前回は基金を取り崩さなくて済んでいるという状況はあるが、試算が間違っていなければ、現時点での最大限でみている。

会 長：基本的に、保険料が上がることは仕方ないにしても、その上げ幅をどのくらいにするかという話だと思うが、市としての考えを示してもらいたい。

事務局：次回の会議を予定している11月頃には予算とも連動して、素案も出すので、ほぼ固まった数値になると思う。その時点でまた説明させていただく。

委 員：今時点で4,000円。推計が正しいとすれば、第9期で約6,400円、今と比べると約2,400円上がる。長いスパンで考えると、3で割って800円。次の期だけを考えるのではなく、その次の期のことも考えて、800円ほど上げるという考えもあるのではないか

と思う。

事務局：参考にさせていただく。

(4) スケジュール

- ・スケジュールについて、事務局より説明。

<質疑応答>

特になし。

(5) 地域包括支援センター運営について

①住民主体による高齢者の外出支援サービスモデル事業について

②認知症総合支援事業について

③地域包括支援センターランチ実績について

- ・住民主体による高齢者の外出支援サービスモデル事業及び認知症総合支援事業、地域包括支援センターランチ実績について、事務局より説明。

<質疑応答>

委員：住民主体による高齢者の外出支援サービスは、自分も新聞で見た。高齢者にとって、移動手段は関心ごとだと思う。期間限定で3年間実施するということだが、ぜひタイムリーに色々な情報を流してもらいたい。情報を出すことで住民の理解も得られると思うので、進捗状況については報告をお願いしたい。

事務局：分かりました。

(6) その他

<質疑応答>

特になし。

5. 閉会のことば

事務局：今日は数値の説明が主になったが、今後3年間の計画を策定する上では大切なプロセスになっていたと思う。また本日の資料をじっくり見ていただきたいと思います。次回は11月下旬、素案の提出をする予定です。よろしく願いいたします。

以上をもちまして、平成29年度第2回 北杜市老人福祉計画・介護保険事業計画策定委員会及び北杜市地域包括支援センター運営協議会を閉会します。ご協力ありがとうございました。